



町民のひろば

さわちゃん劇場

(沢口浩 作・画) 81

くずまき乙女の勤違いの巻



田澤 かず 和珠ちゃん

(3歳4カ月・小田) 真澄さん・千賀さん次女

ひょうきんで自己アピールが得意な和珠。その特技を生かして散歩に出掛けると、近所のおばあちゃんたちから「やすみっこ」をいただいて満腹で帰宅。家では、お姉ちゃんのおゆうぎ会のDVDに合わせて踊って、おばあちゃんを楽しませています。素直なやさしい子に育ってね。
千賀子



西村 こうや 虹哉くん

(3歳6カ月・四日市) 勝彦さん・結さん長男

保育園ではお友達と、家ではお父さんとシンケンジャーになりきって戦うわんぱく虹哉。反面、本が大好きで、読み聞かせているうちに主人公になりきって涙を流すなど優しい一面も。2年前までは体が弱く心配しましたが今は元気です。健康で元気に育ってくれればうれしいな。
結

わが家の
— 333 —
アイドル

ハイ、元気です

190



大下 栄吉さん (82歳・浦子内)

背筋が伸びて顔の肌つやも良く、笑顔で迎えてくれた栄吉さん。「体の調子は悪いところはないが、血糖の管理とインシュリン注射を十年近くも自分でやっている。今では看護師さんにも誉められるほどの腕前だ」と笑います。楽しみは、八十歳から始めたゲートボールとかご作り。牛の飼料の梱包用バンドがもったいないと思いついて、独学でかご作りを覚えて近所の人などにあげては喜ばれているそうです。「一年目よりは二年目、三年目と上達しますよ」と、八十歳を過ぎた今でも向上心を忘れません。かご作りをしながら、自転車でゲートボール場へ向かう、春を待つ栄吉さんです。

皆さんが参加するコーナーです。耳よりな情報やご意見、ご質問などお気軽にお寄せください。総務企画課公聴広報統計係 内線 257

交通安全一筋の和野省助さんに

交通栄誉賞「緑十字銀賞」



「緑十字銀賞」を受賞した和野省助さんと、内助功労で感謝状を受賞した妻の操さん

町交通安全協会会長の和野省助さん(72歳・新町)は、長年にわたる交通安全活動が認められ交通栄誉賞「緑十字銀賞」を受賞しました。

1月19日、東京都日比谷公会堂で行われた第50回交通安全国民運動中央大会(全日本交通安全協会・警察庁主催)で表彰され、天皇陛下も出席なされた中での受賞に感慨ひとしおの和野さん。「運転免許取得からあつという間の53年でした」と振り返り、「法律を守れば交通事故は起きませんよ」と、にこやかな笑顔を見せました。

和野さんは、昭和53年から約16年間交通指導員、平成9年4月から町交通安全協会副会長、同18年4月から同会長、同12年4月から北岩手交通安全協会副会長として交通安全一筋に活動。指導員として警察と同じ制服を身につけたとき、責任の重さを実感し、以来安全運転を肝に銘じてきたと和野さん。「モットーは飲酒運転の撲滅と、老人と子どもの無事故です」と今後も安全協会長として町の交通安全活動を引っ張ります。

特選

梧逸忌第二十回全国俳句大会



松山由依さん(江刈小一年) かぶりつくまっかなトマトいいかおり

が特選に入賞しました。「お家の畑で採れる真っ赤で、甘いにおいのする大好きなトマトを食べたときのことを俳句にしました。」と、少し照れながら笑顔で答えました。江刈小学校(湯原尚子校長・児童数35人)は、校内俳句会を行うなど俳句作りに力を入れていて、ほかの大会でも数々入賞しています。この大会にも毎年参加。今回の「特選」で学校は喜びに沸いています。

奥州市が開催する梧逸忌全国俳句大会(応募総数三一六七句、うち子どもの部二一五八句)子どもの部の部で、江刈小学校一年の松山由依さん



前端 陽子さん(24歳・星野)

葛巻の子どもは自立が早い!

「子どもの気持ちをすぐ察知し対応するようにしています」と、まだうまく相手に伝えられない子どもたちに目を配る陽子さん。月に何日か葛巻保育園の臨時保育士として働いています。「都会より葛巻の子どもは、自立が早い!」と感じています。

地元葛巻高校を卒業後、愛知県で仕事をしながら短大で学び、保育士の資格を取得。その後東京の保育園に勤務、昨年9月に葛巻町へ帰ってきました。

中学・高校ではテニス部に所属。さらに郷土芸能部で葛巻神楽の「踊り手」を務めるなど活動的。「掃除は大好き。でも整頓が苦手(?)」と意外な一面も。

理想の男性像は「思いやりのある人が一番。そして包容力のある人」。将来は子育てをしながら仕事も続けていきたいと考えています。

和牛を飼育する農家で、8人家族。「お父さんが良くなったら、家族で出掛けたい」と自宅で療養中のお父さんを家族と一緒に支える陽子さんです。

今日のショット

舞スマイルダンス教室・自主公演(1/24)

